

## 「右はらい」

ねらい

筆<sup>ふてづか</sup>使いに気をつけて、  
「おれ」を書こう。



気をつけて  
書いた

学<sup>しゅ</sup>習<sup>す</sup>の進<sup>すす</sup>め方

考えよう

すみのついていない筆で  
「右はらい」をなぞって、  
筆<sup>ひつ</sup>あつについて考えよう。



1 弱く。

2 だんだん強く。

3 強く止める。

ほ先を  
まとめながら、  
ゆっくり  
はらう。





どうが

たしかめよう

毛筆で書いて  
たしかめよう。



A5判22P書写3

31

30-3

生かそう

学習したことを生かして、  
えんぴつで書こう。

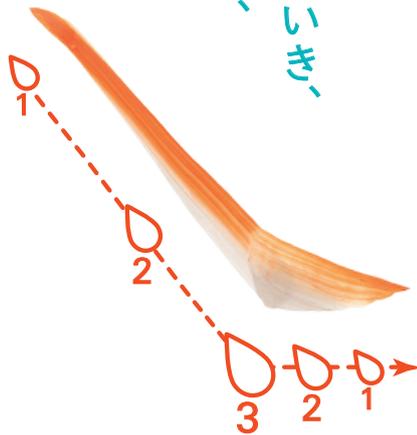
木  
矢  
足



たいせつ

6

「右はらい」は、  
だんだん力を強めていき、  
一度筆を止めてから、  
ゆっくりはらう。



30-4

A5判22P書写3